

プレスリリース
報道関係者各位

2020年10月20日
愛媛県漁業協同組合うわうみ支所

日本初となるブリ養殖業改善プロジェクト（AIP）を開始します
－「ブリの島」戸島・小さな離島から始めるブリ養殖改善プロジェクト－

愛媛県漁業協同組合うわうみ支所が中心となり、愛媛県宇和島市の小さな離島・「ブリの島」戸島において、日本初となるブリ養殖改善プロジェクト（AIP）を2020年から開始します。

プロジェクト名称（日本語）	戸島・ブリ養殖業改善プロジェクト
プロジェクト名称（英語）	Tojima Yellowtail Aquaculture Improvement Project
参画機関	和家紀彦（生産者）、濱元隼人（生産者）、愛媛県漁業協同組合うわうみ支所、坂本飼料株式会社、井戸篤史（愛媛大学）、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン
Web サイト	https://uwaumi.jp/



図 1. 宇和島市・戸島で生産された「戸島ブリ®」

背景：

愛媛県は、全国でも屈指の養殖ブリの生産地です（令和1年の農林水産省統計では1位が鹿児島県、愛媛県は2位の大分県に続き、僅差で第3位）。中でも、宇和島港から西へ20km離れた小さな離島・戸島は、1970年代からブリ養殖が始まり、現在では「ブリの島」と言われるほどブリ養殖が盛んです。近年は年間4,000－5,000トンもの生産量があり、戸島で育った「戸島ブリ®」は品質が高いことが知られています。戸島の島民は259人129世帯（2020年7月末現在）であり、漁家のほとんどがブリ養殖に従事し（39件）、島の経済を支えています。戸島の生産者は、若い後継者が多く育っているのも特徴です。



図2. 戸島の位置

戸島・ブリ養殖業改善プロジェクトの目的・内容：

戸島は、ブリ養殖の他に大きな産業はないため、島の将来のためには、ブリ養殖を持続的に発展させる必要があります。そこで、戸島の生産者は、持続可能な養殖業を認証するエコラベルのうち、最も厳格な国際認証であるASCの取得を目指すことになりました。養殖ブリでのASC認証を目指す動きは、戸島が四国で唯一であり、大手資本に依存しない、小規模な漁業者の主体的な取り組みとしては全国的にも珍しいものです。

ブリ養殖では、九州地区の養殖場においてASC認証の取得が進んでいますが、戸島の小規模な生産者にとっては、持続性の高い養殖技術・認証取得に向けたノウハウの不足や多大な経費負担が課題です。そこで、多様なステークホルダーの協力により、段階的に養殖レベルの向上を目指すAIP（Aquaculture Improvement Project）を実行することとしました。

プロジェクトの活動期間は2024年5月までの4カ年で、毎年の進捗状況を確認しながら、最終的にASC取得レベルの養殖の確立を目指します。今回プロジェクトに参加する生産者は、愛媛県漁業協同組合うわみ支所に所属する和家紀彦、濱元隼人の2名です。小さな離島から、新たに持続可能、且つ責任のあるブリ養殖を実現し、「ブリの島」戸島から世界に向けた挑戦を始めます。

今回のAIP開始にあたり、関係者のコメントは下記の通りです。

和家紀彦、濱元隼人（生産者）

「戸島の自然環境や島民との共存共栄を図りながら、離島におけるブリ養殖の持続可能性をAIPに取

り組みことを通して高めることに挑戦したい。」

愛媛県漁協うわうみ支所・支所運営委員長・佐々木 護

「この度、関係者のご協力のもと、養殖業改善プロジェクト（AIP）を開始することになりました。島は小さくとも希望は大きく、島に生きる若者が豊かな漁場を最大限活かし、経営の安定化に向けて、前進することができるよう力を合わせて頑張りたい。」



図 3. AIP に参加する生産者：和家紀彦（左）・濱元隼人（右）

ASC 認証とは

水産養殖管理協議会（Aquaculture Stewardship Council, 本部：オランダ）が管理する国際的な水産養殖のための第三者認証制度。2020年9月現在、世界で1,386カ所（うちブリ類は9カ所）の養殖場がASC認証を取得している。

<https://www.asc-aqua.org/ja>

本プレスリリースに関する問い合わせ先

愛媛大学（井戸）Tel: 090-9871-7915 / ido@agr.ehime-u.ac.jp

愛媛県漁協うわうみ支所（清家）Tel: 0895-28-6100 / jf-uwaumi@solid.ocn.ne.jp

なお、近日中に企業・メディア向け説明会を開催予定です。ご関心のある方はご一報ください。